



*Ambassador of Japan  
Washington, D. C.*

全米日系人博物館は、2022年には設立30周年を迎え、日系人の経験を通じて米国の民族的・文化的多様性への理解と認識を促進するというミッションを推し進めてきました。私は2021年に、ロサンゼルスに活気あふれるリトル東京に位置する博物館を訪れました。開館当時から使用されている古い設備を大切に利用してきている様子や、展示内容からは、日系人の先人たちの歴史を振り返り、正義を追求する強いメッセージを感じ、強く心を打たれました。

日系人の歴史を通じて多様性への理解を推し進めてきた博物館のこれまでの業績は、その創立者達の先見の明とそしてそれに続く多くの協力者の努力の賜物です。

博物館は、今後も、より多くの来館者の期待に応えるべく、野心的なリノベーションプランを描いています。建物、広場、そしてもちろん展示内容も一新されることで、来館者にとり、一層魅力的な空間を作り上げることとなるでしょう。

日米両国は、「自由で開かれたインド太平洋」を支える次世代リーダーを育成するため、相互の交流を重視しています。現在、日系米国人の歴史、貢献、文化的伝統に敬意を表し、将来の日米協力に次世代の米国人リーダーを参画させていくことがますます必要となっています。これらの取り組みは、日米関係に関わるすべての人達の協力のもとでのみ実現できると考えます。また、この考え方は、博物館の目指す方向性とも合致していると理解しています。

このような視点から、今般の博物館刷新実現に向けて、幅広い方々からご支援を頂くことは、日米関係の土台をより確かなものとする上で大きな意義があると考えています。

全米日系人博物館の活動が、あらたな息吹を吹き込まれて一層飛躍していくことを心からお祈りいたします。

駐アメリカ合衆国特命全権大使

富田 浩司